

データの取り扱いについて

1. 効果データについて

(取り扱い案)

- 幅広に関連する効果データの検索を行う等、網羅性を担保することとしてはどうか
- 複数の効果データが存在する場合は、対象集団や診療実態の違い（例えば海外データの場合、医療技術の使用実態のわが国との違い等）等に留意しつつ、原則としてエビデンスレベルが高いデータを優先することとしてはどうか。

2. 費用データについて

(取り扱い案)

- 単価データについては、原則として、診療報酬点数表、薬価基準、特定保険医療材料価格基準等を用いることとしてはどうか。
- 回数データについては、わが国の診療実態を適切に反映していると考えられるデータを用いることとしてはどうか。（例：「ガイドライン等に示された標準的な診療過程」、「実際の診療を分析したデータ」）